【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第３部門第３区分
【発行日】令和6年2月27日(2024.2.27)

【国際公開番号】WO2022/202699
【出願番号】特願2023-509142(P2023-509142)
【国際特許分類】
C08F 2/44(2006.01)
C08F 2/46(2006.01)
G02B 1/14(2015.01)
【ＦＩ】
C08F 2/44
C08F 2/46
G02B 1/14

【手続補正書】
【提出日】令和5年5月9日(2023.5.9)
【手続補正１】
【補正対象書類名】特許請求の範囲
【補正対象項目名】全文
【補正方法】変更
【補正の内容】
【特許請求の範囲】
【請求項１】
シクロオレフィンフィルムの少なくとも片方の面に電離放射線硬化性組成物の硬化塗膜から成るハードコート層を有するハードコートフィルムにおける前記電離放射線硬化性組成物であって、
（メタ）アクリロイル基を有するアクリル樹脂を含む電離放射線硬化型樹脂（成分Ａ）と、
ヒンダードアミン系光安定化基を有するシランカップリング剤（成分Ｂ）と、
を少なくとも含み、
前記ヒンダードアミン系光安定化基を有するシランカップリング剤（成分Ｂ）の含有比率が、対固形分０．５質量％～２．８質量％であることを特徴とする電離放射線硬化性組成物。
【請求項２】
前記ヒンダードアミン系光安定化基を有するシランカップリング剤（成分Ｂ）は、構造中にフッ素基を有するシランカップリング剤を含まないことを特徴とする請求項１に記載の電離放射線硬化性組成物。
【請求項３】
前記電離放射線硬化性組成物は、さらに無機酸化物微粒子（成分Ｃ）を含み、前記無機酸化物微粒子（成分Ｃ）の平均粒径が、５ｎｍ～２００ｎｍであり、前記無機酸化物微粒子（成分Ｃ）の含有比率が、対固形分１質量％～７５質量％であることを特徴とする請求項１又は２に記載の電離放射線硬化性組成物。
【請求項４】
前記電離放射線硬化性組成物は、希釈剤（成分Ｄ）を含み、前記希釈剤（成分Ｄ）中に芳香族炭化水素系溶剤を含む場合、希釈後の溶剤比率において、前記芳香族炭化水素系溶剤は３０質量％未満であることを特徴とする請求項１乃至３のいずれか一項に記載の電離放射線硬化性組成物。
【請求項５】
シクロオレフィンフィルムの少なくとも片方の面に請求項１乃至４のいずれか一項に記

載の電離放射線硬化性組成物の硬化塗膜から成るハードコート層を有することを特徴とするハードコートフィルム。
【請求項６】
（削除）
【請求項７】
前記シクロオレフィンフィルムが、前記ハードコート層の易接着化を目的とした前処理を受けていないシクロオレフィンフィルムであることを特徴とする請求項５に記載のハードコートフィルム。
【請求項８】
基材フィルムの少なくとも片方の面に電離放射線硬化性組成物の硬化塗膜から成るハードコート層を有するハードコートフィルムの製造方法であって、
前記基材フィルムがシクロオレフィンフィルムであり、
前記基材フィルムの少なくとも片方の面に請求項１乃至４のいずれか一項に記載の電離放射線硬化性組成物を塗布し、塗布後の乾燥工程の最後段における基材温度が５０℃～１００℃となる条件で塗膜の乾燥を行うことを特徴とするハードコートフィルムの製造方法。